



TDA 交流イベント

TDA サロン 『ランドスケープと建築』

ランドスケープの考え方は、人の意識や時代により意味や解釈が変わってきています。

ランドスケープと建築の繋がり、わが国では古くから存在し、東西を問わず山や川など地形を読み込んだ景色に大きく影響を及ぼしてきました。そこで今回は、今後のランドスケープデザインの果たす役割と課題を解かり易く説明していただきます。

日 時：2016年3月8日(火) 18:30～20:30

会 場：台東区立浅草文化観光センター 大会議室 (東京都台東区雷門2丁目18番9号5階)

資料代：会員 500 円、一般 1,000 円、学生無料

※サロン後、懇親会を予定しています (懇親会参加費 3,500 円、会場未定)

□話題提供

萩野 一彦 氏 (株)オオバまちづくり本部担当部長)

早稲田大学芸術学校都市デザイン科非常勤講師 (1999～2008)、工学院大学建築学部まちづくり学科非常勤講師 (2014～現在)

学歴 千葉大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了、博士 (工学)、技術士 (建設部門)、登録ランドスケープアーキテクト (RLA)、1960年東京生まれ

所属 (公社)日本造園学会理事、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会理事ほか

実績 造園/ランドスケープを軸に、都市計画、土木、建築の領域に跨るランドプランニングを専門とする 代表作:湘南国際村、びゅうヴェルジェ安中榛名、沖縄科学技術大学院大学、パークシティ浜田山、JR 相見駅前空間など



□パネリスト

井上 洋司 (TDA 正会員/背景計画研究所)

所属 景観デザイン支援機構、都市環境デザイン会議理事ほか

学歴 工学院大学大学院工学研究科建築学専攻 1975年修了、登録ランドスケープアーキテクト (RLA)

実績 成田山新勝寺表参道修景計画、長野冬期オリンピック選手村 (今井ニュータウン) 全体ランドスケープ、JR 横須賀駅周辺地区計画
ランドスケープ (都市景観 100 選)、ガーデンアベニュー志木幸町 (彩の国さいたま景観奨励賞) など

著書 『ローメンテランスでつくる緑の空間』(彰国社)、『雨の建築学、雨の建築術、雨の建築道』(共著、日本建築学会編) など

八木 健一 (TDA 監事/八木造景研究室)

所属 景観デザイン支援機構、都市環境デザイン会議、パブリックデザインコンソーシアム

学歴 東京藝術大学美術学部建築科 1969年卒業、一級建築士、登録ランドスケープアーキテクト (RLA)

実績 集合住宅や公園・広場・街路等の計画・設計、日本大学生産工学部ほかで景観デザイン系の非常勤講師を歴任、千葉市都市総合審議会委員、世田谷区風景デザイナー、戸田市景観アドバイザー、品川区まちづくり専門家などの公的委嘱も兼務など

著書 『はじめてのランドスケープデザイン』(学芸出版社) など

□司会進行

西田 幹 (TDA 理事/デジタルキアロ)

申 込：TDA 事務局宛にメールにて、サロン・懇親会参加の有無を明記してお申し込みください

主 催：特定非営利活動法人 景観デザイン支援機構 main@tda-j.or.jp / 080-6722-4114